



ゼロカーボンシティひろさき

近年、地球温暖化が要因とみられる気候変動により、世界各地で自然災害が頻発・激甚化し、国内においても、猛暑や集中豪雨等による甚大な被害が発生しています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前からの世界の平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に共有され、2018年にはIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、「気温上昇を、2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされました。

弘前市は、豊かな自然環境を守り、市民が安全に安心して暮らせるまちを次世代に引き継いでいくため、市民、事業者との協働により地球温暖化対策を推進し、「2050年までに二酸化炭素実質排出量ゼロ」を目指すことをここに宣言します。

令和6年2月16日

弘前市長

櫻田 宏